

広報 やまこし

1976
9/1
第99号

発行 新潟県古志郡
山古志村役場
電話 竹沢局
17 23 78
印刷 大川印刷株式会社



お題は「海」
昭和五十二年
歌会始詠進歌

昭和五十二年歌会始のお題は、「海」と定められました。
(注)お題は海(うみ)ですが、歌句には海の語意のある言葉を用いてもよく、また、それらの語句がなくとも、海的情景が詠み込んであればよい。
詠進歌の詠進要領
○ 自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。
○ 用紙は半紙とし、毛筆で自書してください。病気又は身体障害のため自書できない場合は、他人が代筆しても差し支えありませんがその理由の書紙を添えてください。
○ 書式は、半紙を二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名、生年月日及び職業(具体的に)を書いてください。
詠進の期間
九月一日から十月十二日まで
郵便のあて先

お知らせ

「千一〇〇東京都千代田区千代田一番一号、宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。
くわしいことは総務課企画係へ問い合わせください。

動物愛護週間行事

動物に愛の手を

ことしも秋分の日を中心に動物愛護週間が行われます。
県動物愛護協会では、この週間にちなみ、適正な繁殖、飼育を目的に犬、ねこの避妊、去勢手術に次のおり奨励金を交付することになりました。

- 奨励金の額
 - ①避妊手術一件(二万円)につき 県動物愛護協者 三〇〇〇円 県獣医師会 三〇〇〇円
 - ②去勢手術一件(五千円)につき 県動物愛護協会 一、五〇〇円 県獣医師会 一、五〇〇円
 - ③残額は所有者の負担となります。

☆山古志村には各一頭の割当とな



っていますので申込み多数の場合は抽選となります。また、手術中事故の場合は補償することになっていません。
○申込み 九月十日まで住民課へ
●里親探し
県協会長岡支部では次の日程で仔犬、仔猫の里親探しを実施します。
○とき 九月二十三日
十時から十五時まで
○ところ 動物保護管理センター
1 (長岡市柿町)
○うけつけ
九月二十日から二十二日まで
☆当日は、里親になりたい人、里子に出したい人から集ってもらい保護管理センター立会いのもとに実施され、新しい飼主が見つからない場合はセンターで引取ります。
なお、当日は、飼育相談、健康相談を無料で実施します。
(くわしくは住民課)

庁舎移転

法務局長岡支局

新潟地方法務局長岡支局では、かねて新築中の法務合同庁舎が近く竣工いたしますので、左記のとおり庁舎移転します。
○所在地
長岡市三和三丁目九番地一

法務合同庁舎(市立劇場隣り)
○移転日
十月二日(土曜日)
○事務開始
十月四日(月曜日)
なお、十月一日は移転準備をしますので、登記(謄抄本)申請その他の御用の方は、なるべくその日を避け月曜日に申請されるよう御協力をお願いします。
法務局長岡支局

停電のお知らせ

9月24日(金)
種芋原全域
9時から12時30分まで
虫亀全域
13時30分から17時まで
東北電力山古志出張所

若い力を 国の守りに

自衛官募集中

来春高校卒業予定者の採用試験は十月一日から行われますので、お早く志願してください。
自衛隊ミニニュース
いま自衛隊は災害救難の準備訓練にはげんでいます。例えば東京地方に大地震が発生したら陸、海、空の隊員五七、〇〇〇人、約三五〇機の航空機、約一〇、三〇〇台の車両、さらに約五〇隻の艦艇を出动させて救難活動にあたるよう計画されています。

子の名に用いる漢字の追加について

次のとおり人名用漢字が追加されましたのでお知らせします。

佑 允 牙 喬 怜 悠 旭 杏 梓 梢 梨 沙 渚 瑠
瞳 紗 絢 翠 耶 芙 茜 葵 藍 那 阿 隼 鮎 紘

-8月1日現在-	
世帯数	967
人口	4,011人
男	2,014人
女	1,997人
出生	1人 (男0・女1)
死亡	3人 (男2・女1)
7月中の住民移動	
転入	8人 (男5・女3)
転出	6人 (男4・女2)

- #### 主な記事
- 秋の消防演習実施
 - 地震に備えて
 - おとしよりを大切に
 - 献血のご協力に感謝
 - 農村青少年 技術交換大会に参加して
 - 国民健康保険と歯の治療
 - 暴風雨に要注意



九月十五日は「敬老の日」この日はおとしよりをいたわり、はげまし、長寿を祝う日としてわたしたちになじみの深いものになりました。長寿を祝って、ことし満九十歳になられた、上田藤七さん(木籠)に新潟県知事より座布団が贈られます。このほか満七十五歳以上の方百六十六名の方全員に記念菓が贈られます。

敬老の日

十五日は「敬老の日」

村社会福祉協議会からは、ことし満八十歳になられた次の方々に毛布が贈られます。

- 青木 治郎右門(徳司)
- 坂 牧 トメ(仁一)
- 小川 富 吉(一夫)
- 坂 牧 栄 吉(栄松)
- 川 上 彦 七(健三郎)
- 橋 繁 太郎(伊三郎)
- 虫 亀
- 長 島 ルカ(治)
- 長 島 ムツ(健治)
- 田 中 留 吉(本人)
- 長 島 源 七(本人)
- 川 上 キシ(孫治)
- 間内平
- 関 トラ(春男)
- 桂 谷
- 高 野 忠 吉(忠夫)
- 下 村
- 佐 藤 カツ(昭司)
- 橋 木
- 畔 上 イマ(嘉六)

このほか、満七十五歳未満のねたきり老人の方にも村社会福祉協議会から記念菓が贈られます。

夫婦式金婚

氏名	年齢	結婚年月日	部 落
川上 嘉平 ト	(72) (73)	大正14・8・15	種芋原
小川 甚之丞 フク	(78) (67)	大正14・10・20	小松倉

わたくしたちの今日の基礎を築いてくれた人たちはおとしよりで「敬老の日」を機会に社会環境、家庭環境をよくし、おとしよりの毎日を幸福にすごせるよう努力しましょう。だれしも避けて通れないのが老人の問題です。「おとしよりを大切に」それは明るい家庭の第一歩です。金婚式ご夫婦に色紙結婚されて五十年、仲むつまじく、お元気でめでたく金婚式を迎えられた二組の方に、新潟県知事よりお祝いの色紙が贈られます。

お年寄りが受けられる特典

年齢が六十五歳以上で所得金額が一千万円以下の人には、①老年者控除として所得金額から二十万円が差引かれます。②国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給を受けている場合には、老年者年金特別控除としてその収入金額から七十万円が特別に差引かれます。お年寄りを扶養している人が受けられる特典

税務相談室



お気軽にどうぞ

税金

お年寄り

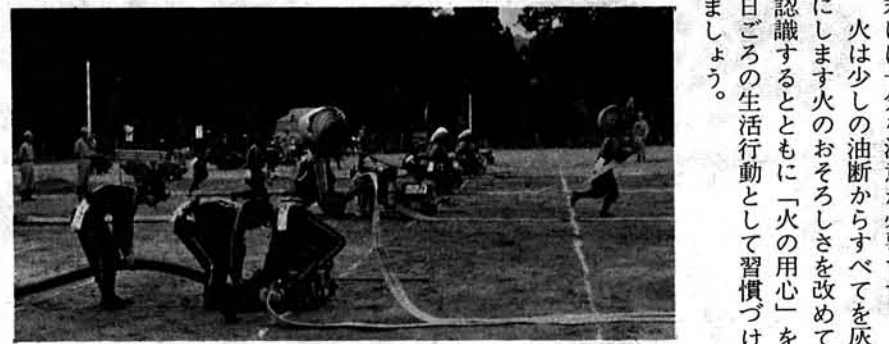
九月十五日は敬老の日です。長いあいだ働いてきたお年寄りの長寿を祝う行事が各地で行われることでしょう。ところで、日本人の平均寿命はおよそ男性七十二歳、女性七十六歳(昭和五十年現在)で、世界の長寿国の一つになっています。そこで、国では老人福祉問題について、いろいろな施策を行い、所得税についても、このような方たちに対するいくつかの有利な特典を設けています。



老人にねたきり心づかいを

火災に備えて

秋の消防演習



災害の未然防止、住民の生命、財産を守るため常にその体制を整え、日夜努力している消防団では、恒例により、ことしも去る八月二十五日山古志中学校グラウンドで本年度の消防演習を実施しました。これは、団員としての自覚と責任をより深め、知識、技術の向上を図り、併せて地域住民の防火思想の普及徹底とその使命達成を目的に行われるものです。この日、グラウンドには、二百八十九名の団員が動力ポンプ八台、自動車ポンプ一台の機動力とともに訓練を開始し、機械器具の点検、ポンプ操法、放水訓練、分列行進など指揮者の号令のもとに、迅速な操法、整然とした行進など日頃の訓練の成果が現われて



あわてずにおちついて

日本は世界でもとくに地震の多い国です。地震はいつ、どこで、どんな大きさのものが起こるか、前もって知ることはできません。しかし、地震そのものは防ぐことができないとしても、地震による被害を防ぐことはできるはずなのです。そのためには、地震に対する知識と心がまえを十分身につけておくことが必要です。一分すぎたら、まず安心。大きな地震でも、瞬間的に建物が倒れたり壊れたりすることはありません。はじめに起こる初期微動につづいて、はげしいゆれがくるが、しかし、一分以上つづくことはめったにありません。木造の建物の中では、あわてて外にとび出さない。丈夫な机やベットなどに身をかくして様子を見る。窓ガラスや階段には近よらない。倒れやすい建物の一階にいて、危険を感じたときは、頭に座ぶとんなどをかぶって、近くの広場に避難する。自動車を運転しているとき、あわてて急停車しないで、ハンドルを握り、徐々に速度を落とし、道路の左側に停車して様子を見る。

カーラジオで交通情報を聞く。すばやく火のしまつ。ガスレンジ、ガスコンロ、ガス風呂などの元栓を締める。ガスの配管がこわれてガス漏れがしていないかを確かめる。もし火災が起きたら、はげしくゆれている間に火災が起きたらまず火元が石油かガスか電気器具か、またなにが燃えているかをよく確かめ適正な消火法でやる。あらかじめしておくこと。停電することもあるので懐中電灯、トランジスタラジオなどの置く場所をきめておく。「天災は忘れたころにやってくる」といわれます。被害を最少限にするには、ふだんの心構えと準備が大切です。「もし」起きたらどうするか、家族で話し合っておきましょう。

優秀賞に入賞した

関正史君

県下農村青少年技術交換大会



新潟県農業の担い手として期待する青少年の交流を深め自らの企画により、日ごろの実践活動で体得した知識や技術を相互に交換し、希望をもって農業に取り組み自信と連帯感を培うことを目的とした「第十六回新潟県農村青少年技術交換大会」が去る七月二十七日、二十九日の三日間北蒲原郡笹神村五頭山麓県民会館の広場で開催されました。県下農村青少年二百余名の仲間とともに本村からは、梶金の関正史君が参加しました。

参加者はそれぞれ班編成をし、共同生活、集団生活を通して人間の交流を深め、お互いの連携強化のもとで協調精神を養うため野外キャンプ生活で県下の男女仲間と大いに語り合い主張が行われました。

参加者はそれぞれ地域の実践青少年であることから大会も大いに盛り上がり活気に満ち将来を期待される若人の集いとなりました。

その中で関正史君は長岡地方を代表して日頃のプロジェクト活動の中よりとりあげた「肉用牛生産にとり組んで」を演説発表し名譽ある優秀賞を君事より授与されました。

関君は、昭和四十九年に肉用牛飼育の規模拡大を図り現在二十頭の牛を飼育しており、平素日常生活の中で常に考え、経営、技術、

大会に参加して

関正史

北蒲原郡笹神村五頭山麓「県民会館の森」で、二百人余りの仲間と三日間夜を徹しそれぞれ現実と将来への話し合いから、私自身にも大きなプラスとなりました。

一、環境条件の異なる地区で、阻害条件を克服しながら実績をあげている頼もしい多くの仲間がいること。

二、各種演説発表は、それぞれのプロジェクトに取り組んでいる中からより具体的に、研究努力のあとがみられ創意工夫がなされ、将来の経営者としての自信がみられたこと。

三、農業技術競技で中広い知識と技術の要求される中で、多くの知識を修得している仲間が多かったこと。

等大会に参加した一部の感想で、私はこのすばらしい県下の数多い

躍動する農村青少年との交流を得て大変よかったと思いました。

みんなが自分の生き方、生活を一生懸命に考え自分の村や土地への愛着をもち、各地で頑張っているんだということを自分のバックボーンとして、心の支えとして、今后とも生きるといふ大切な事を見つめながら山古志村、また、選択している農業というものを考えてゆきたいと思えます。

しかし、一人で今後の方向を決めるにしても、一人だけの努力、能力では大きな困難性があり、願わくば在村の若人が職業、趣味を生かしながら仲間づくりのグループ活動を進め、共通の悩み、共通の問題解決のため話し合いと実践を通して創意工夫し、それぞれの職業と生活の調和を図りながら、新しい村づくりの糧となるよう多くの人々に期待し私の感想とします。



普及所記



愛の献血 ご協力に感謝

村では、去る八月十二日「ゆうあい号」をまねきことし二回目の採血が行われました。

みなさんから献血精神をよく理解され積極的にご協力をいただき目標をはるかに越えることができましたので関係者は感謝しております。このたびの協力者は次のとおりで、感謝の意を表すため、県血液センター、村よりそれぞれ印刷箱、タオルが贈られました。

○種芋原
米岡 祐三 ・ 小川 藤雄
草間 頼雄 ・ 佐藤平四郎
川上 卓夫 ・ 坂牧 六一
樺沢 昭司 ・ 小沢亀治郎
坂牧宇一郎

- | | | |
|------|--------|-------|
| ○虫亀 | 酒井 一郎 | 田中 勇 |
| ○三ヶ | 五十嵐 助一 | 齊藤 隆 |
| ○竹沢 | 畔上 完二 | 畔上 満喜 |
| ○青木 | 青木 昇 | 関 稔 |
| ○高野 | 高野 一三 | 星野 勝利 |
| ○星野 | 星野 信義 | 星野 清剛 |
| ○青木 | 信一 | 小池 清 |
| ○関 | ハツ | 高野美和子 |
| ○高野 | 義隆 | 星野フジエ |
| ○小川 | 小川 ミキ | 関 ミサホ |
| ○小池 | 小池 加久 | 星野由太郎 |
| ○星野 | 星野 イソ | 小川 勝行 |
| ○佐藤 | 佐藤 誠一 | 小池きよみ |
| ○星野 | 星野 重行 | 高野 辰男 |
| ○高野 | 高野 雅俊 | 星野 要一 |
| ○星野 | 星野 英和 | 小川 春雄 |
| ○関 | 関 浩明 | 高野 キユ |
| ○佐藤 | 佐藤 サダ | 高野 トセ |
| ○星野 | 星野 英世 | 八久保チイ |
| ○川上 | 川上 敏郎 | 星野トキ子 |
| ○高橋 | 高橋 幸男 | 小池 順子 |
| ○東竹沢 | 東竹沢 武俊 | 小池 吉夫 |
| ○畔上 | 畔上 浩 | 星野健太郎 |
| ○関 | 関 勝 | |

秋の交通安全運動

— 9月21日から30日まで —

運動の重点

- ①歩行者、特に子ども老人の事故防止
- ②自転車利用者の事故防止
- ③シートベルト着用の推進

- | | |
|-------|-------|
| 小川喜太郎 | 上田 清作 |
| 小川 清一 | 藤井 虎雄 |
| 松崎六太郎 | |
| ○村外 | |
| 関 博希 | 石原 十八 |
| 鈴木 梓 | 服部 辰男 |
| 小田原一夫 | |

二十歳と国民年金



みなさんの中でも、成人となられた方が大ぜいおいでのことでしよう。

成人となって大人の仲間入りすると、多くの権利が与えられると同時に義務や責任も課せられますが、国民年金に加入することもこの義務のひとつです。

戦前、わが国は短命国といわれたのですが、現在は世界でもトップグループの長寿国となりました。

寿命が延びることは大変うれしいことですが、それも老後の所得保障があればこそです。

年金制度とは、国が中心となり社会全体が連帯してこの個人の老後を保障する制度です。

また、年金は遠い未来を守るだけではありません。

加入して一年経った後に、交通事故、病気、天災などで障害者になったときには障害年金が支給されますし、一家の働き手を亡くした家庭には母子年金などを支給してその生活を守ります。

若い人にとって、老後ははるかに遠い先のことでしょう。

しかし、家族に両親やお年寄りがおられないでしょうか。

これらの人の老後生活や扶養の問題を考えれば、若い人にも年金を身近なものとして理解いただけたらいいと思います。

山古志村では、厚生年金や共済組合、船員保険などに加入していない新成人のみなさんに、社会人のパスポートとして年金手帳(国民年金に加入した証)を送付していただきますが、保険料を忘れずに納められるようお願いいたします。

また、この年金手帳が届かない新成人の人や会社や工場をやめた人は、国民年金係まで申し出てください。

※ 厚生年金、船員保険、各種共済組合の加入者とその配偶者、昼間部の学生など以外の二十歳から五十九歳までの人は、国民年金に必ず加入しなければなりません。

歯の治療は

保険で十分できます

国民健康保険

歯は私達の健康に深い関係をもっていますから、常に歯の衛生に気をつけなければなりません。また、歯や歯ぐきの病気になるたら一日も早く治療することが必要です。

歯や歯ぐきの病気になる場合、健康保険、国民健康保険等は、これを扱っている歯科医院の窓口で保険証を提出すれば、通常の治療は全部保険でできるようにしています。

もう少し詳しく説明しますと、

歯や歯ぐきの病気になる場合、歯の抜けたところに入れ歯などを入れること。など通常必要とする治療は、全部保険で、できることになっています。

七月三十一日限りで、いわゆる差額徴収治療は廃止されましたが、通常必要とする治療が保険で十分

- ① 健康保険の被保険者である患者の場合
- ② 二〇〇円(初診時一部負担金)入院された場合は別
- ③ 健康保険の被扶養者又は国民健康保険の被保険者である患者の場合
- ④ 保険で行った治療費の三割

差額徴収治療

廃止

健康保険、国民健康保険等は、疾病負傷に対し給付を行う保険です。次のような事例については給付できないことになっていくとされています。

保険でできない治療

- 1 健康診断
- 2 歯列矯正(歯並びをそろえる治療)や美容を目的とするもの
- 3 虫歯の予防(歯にフッ素を塗布する方法など)

このほか、通常必要とする治療外の治療(特殊な材料などを使用する治療)についても給付できないことになっています。

保険でできる金(前歯に入れる十四カラットの金等)以上の金、白金、特殊な材料などを使用する治療については、七月三十一日限りで廃止することになりました。しかし、前に述べたように歯の治療は保険で十分できます。

どうしても金や白金加金等の特殊な材料を希望する場合は、あらかじめ、歯科医師と十分話し合い、金額についても見積書等によって確認し納得したうえで行うようにしてください。

なお、日本歯科医師会でも、自由料金等について自粛の措置を講じ、歯科医療の混乱が生じないよう会員の指導をすることになっております。

台風シーズン

暴風雨に要注意

一日は「防災の日」この日は「立春」から数えて二百十日目にあたる「二百十日」です。

これは稲作(農作)と台風(野分)の関係を端的にいい表わして注意を呼びおこすようにしたわが国だけの呼び名です。

台風は、例年八・九月ごろになると日本に接近し、上陸するのが多くなり、これによって多くの尊い人命や財産が失われています。

台風は一般に暴風雨を伴ない上陸地付近はもちろん、その進路にあたる地方でも豪雨による河川のはらん、家屋の倒壊、がけくずれなどその被害はまぬがれません。

- ① 平素の心がけが大切
- ② 警報、避難命令などの伝達経路をよく確かめておく
- ③ 隣近所と協力していつでも避難ができるよう話しておく
- ④ 停電に備えて懐中電灯、ラジオ、ソク、トランジスタラジオなどを用意しておく
- ⑤ 風で折れたり、電線にふれたりするおそれのある木の枝は切り落しておく
- ⑥ プロパンガスのボンベは倒れないよう安定しておく

近づいた時の注意

- ラジオ、テレビで気象情報や防災上の注意事項をよく聞く
- 煙突、看板などを十分補強しておく
- がけ地の付近は、大雨によって地盤がゆるみはげくずれの危険があるので十分注意する
- ケガなどに備え医薬用品を用意しておく
- 危険な場所に住む方はとくに日ごろの注意が必要です

災害を未然に防ぐため平素の防災体制を整えておきましょう



住民課



第8回レクリエーション大会

みんなのひろば

ことし第八回目をむかえた村民の祭典、総合レクリエーション大会が去る八月二十二日池谷小学校グラウンドで開催されました。

この大会は、スポーツを通し、お互いの親睦と体力づくりを図ることを目的に行われるもので、より多く老若男女が参加できるようにとレクリエーションを主体としたプログラムが組まれ、この日はかりは日ごろの忙しさを忘れ、応援団も選手も一体となって、真夏の太陽を浴びながら、各種目に大熱戦が展開され、会場いっばいにその盛り上がりを見せていました。

最後に選手や応援団、来賓全員による盆踊りが行われ、楽しい一日を過ごしました。

季節の話題

秋の七草

春の七草は食用としての野草ですが、秋の七草は観賞用としてのものが主体です。

秋の野に咲きたる花を指折り数ふれば七くさの花

萩が花 尾花(ススキ) 葛花 女郎花 藤袴 朝顔(キキョウ)

と山上憶良が詠んだのが秋の七草の代表的な種類として親しまれてきたようです。

おたけのむかし(80)

二十村地名 起源考 佐々木 隆

前項続

変って、石坂、石塚、石動、川崎、高津谷、栃尾、下條、小丹生の八郷と記録され、郷名も身近な感じを受ける。だが、この郷の区域も判然としない不文律な面もあった。この時代はまだ山古志郷の名称は生れていなかった。

村のこと

郡、郷の下部には村がある。辞典などを見ると村の説明を、田舎で人家が集まっている所とか、村里、在所、村落、村邑、集落と書いている。村は昔から何戸以上でなければ村とは云わないという定義も制度もなかった。だが、古い時代には「名」と呼ばれ編成され年貢や公事の諸負担は、この「名」を通じて賦課されたものであり、必然的に生れたのが名主という役柄や名称であった。

古い時代の農民は、「名」の支配下にあった。それは一つの集落となっていた事から「村」に移っていったのではない。東大寺にある文書のなかに村の表現を「名」と書いているのが多くあると聞くし、四国の阿波

国、今の徳島県の山奥の村々では現在でも、村を名と云っている土地もある。従って名のつく地名の所は歴史が深いといわれている。名から生れたものには大名、小名、名主などがあり、古志郡内では名木野村が名の字のつく村だった。村を邑の字を用いた時代もある。江戸の頃から明治の中期頃の文書に多く見られる。以上の通り村の組織は大筋においては昔も今も変わりはないようである。そして、村が繁栄して町となり、町が拡大して市となって、郡や村を呼称する数は次第にすくなくなっていく。

越後の荘

一国の機構や組織を、わかり易く説明するために村を先に記したが、奈良朝時代から戦国の末頃まで存在したものに荘がある。一般には荘園といった。荘園とは、田地を主体にしたある区域を私有したもので、そこから収穫した農作物は支配者の所となる仕組のものである。その所有支配者は、主として律令国家における政治的地位の高い者や権力ある貴族だった。